

# 平成19年度 地域ケアプラザ事業報告書

## 1 施設名

浅間台地域ケアプラザ

## 2 事業報告

### (1) 施設の適正な管理について

#### ア 施設の維持管理について

高齢者や地域の住民が利用する施設として、安全かつ安心して利用して頂けるように施設整備の保守など不便をかけることがないように、維持管理に努めました。

具体的には、給湯設備の更新、通所介護入浴リフトのポンプ交換、入浴床の滑り止め整備などを実施しました。

日常の設備管理については、法人本部による入札等適正な方法で委託業者を選定し、質の確保と経費削減に努めました。

#### イ 効率的な運営への取組について

人件費・事業費・事務費等の経費面で使途目的を明確にし、費用削減に努めました。事務手続きの見直しをすることで、購入時の無駄な出費を抑えました。

常に効率的な運営に心がけました。

地域包括支援センターや介護予防事業の効率的運営のために適正な人員配置に努めました。

#### ウ 苦情受付体制について

プラザが実施する事業について、苦情があった場合はマニュアルに基づき迅速かつ適切に対応しました。

苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置し苦情の解決を図りました。

法人でも第三者委員会を設け、円滑な解決、サービスの改善に努めました。

#### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

プラザでは、プラザ・養護・特養の3施設で火災対策・消防計画に基づき合同で対応に備えました。また、災害時における在宅要援護者の特別避難場所として避難場所・備蓄物資の適正な保管をしました。

介護保険事故発生の際には、マニュアルを基に迅速な対応をしました。

再発防止にも取り組みました。

#### オ 事故防止への取組について

安全対策については、入浴の床の滑り止めを施行し、事故防止に努めました。

日常の様々なミーティングを通じヒヤリハットの事例報告を励行しました。

情報を共有し、統一した意識を持つことにより、事故を未然に防ぐスキルの向上に努めました。

#### カ 情報公開への取組について

ホームページを活用し、各事業の紹介や情報をオープンにしました。  
開かれた施設を目指しました。

#### キ 環境等への配慮及び取組について

シックハウス症候群・科学物質過敏症の対策として日々換気を行いました。  
ゴミの少量化、再資源化に努めました。  
節電・節水を心がけ省エネルギーに配慮しました。  
花の手入れをし、施設の緑化の維持管理をしました。

### (2) 職員配置・育成について

#### ア 職員体制について

資格要件等の職員配置基準を満たした配置を行いました。  
公募による採用を原則としました。  
各事業とも欠員は、ありませんでした。  
常勤、準職員、非常勤含め適材適所の配置により役割を見直し、人件費の節減を心がけました。

#### イ 職員の研修計画について

年間の研修計画を立て、職員の定期的な研修を実施しました。  
外部研修にも積極的に参加しました。  
専門職の技術や技能の向上を図りました。

#### ウ 個人情報保護の体制及び取組について

横浜市個人情報の保護に関する条例に基づき個人情報の保護に努めました。  
随時、個人情報の取り扱いには、注意喚起をし、意識啓発を促しました。  
契約書や記録、パソコン、USBなどは、施錠をして保管をしました。  
個人情報漏えいの防止としてマニュアルを見直し複数職員によるチェックの方法を確立しました。  
職員全員に周知徹底をしました。

### (3) 事業内容

#### ア 関係機関との連携について

福祉・保健に関することに、区役所、社会福祉協議会、地域の関係機関（医療機関、ボランティア団体、介護事業所、地区連合会等）と連携を密にしました。  
処遇困難な事例や多問題事例などは、カンファレンス等を通じて協働して、対応してきました。  
地域福祉の推進のメンバーとしても、地域の皆様がいつまでも地域で暮らすことができるまちづくりを目指しました。

#### イ 施設や自主事業に関する広報・PRへの取り組みについて

地域包括支援センターと連携して地域団体の会合や事業に参加し、プラザの役割・自主事業の紹介をしました。チラシ・隔月で発行している広報紙「そよ風」を配布しました。

#### ウ 地域ネットワークの構築について

地域活動交流としては、地域包括支援センターと連携し自治会、民生委員・児童委員、地域団体の会合に参加し、関係作りに努めました。また、支えあいネットワーク第6地区子育て分科会において、主催したイベントを通し、地域住民、民生委員、児童委員、区社会福祉協議会、公園愛護会、保育園との新たな関係作りに努めました。

#### エ プラザの各機能を活用した、地域の福祉保健に関する拠点としての機能の発揮について

地域の様々な相談事業や介護保険サービスの提供、また地域の皆様からの声や、それらから考えられる課題を一つ一つ地域の皆様や関係機関とともに協働しながら解決策を図りました。

フォーマル・インフォーマルを含めた地域ネットワークの構築を目指しました。

区役所各課・社会福祉協議会・連合会・ボランティアの皆様のご指導やご協力を得ながら、地域の皆様とともに小さな一歩を踏みだしました。

#### オ プラザ内の各部門間の情報共有の方法、連携等について

地域活動交流と、包括支援センターは連携し、「支えあいネットワーク勉強会」を共催で開催、高齢者対象の自主事業などで相互に参加しました。

日常では、報告・連絡・相談を随時行い、コミュニケーションの円滑を図りました。

紙ベースやメールで回覧し、連絡ノートを活用しました。

職員の予定は、掲示板で明らかにし、電話での問い合わせなどに応じました。

### ● 地域活動・交流事業

#### ア 地域の現状（課題）及び、これに対する施設の基本的な取り組み

高齢者が比較的多い地域であることから、包括支援センターと連携し、民生委員・児童委員、老人会、地域団体が主催する催しに参加し、介護保険等のサービスや介護予防の自主事業の紹介を行いました。

#### イ 地域や地域住民との交流・連携の取り組みについて

自治会や民生委員・児童委員の会合に参加させて頂き連携に努めました。また、支えあいネットワーク第6地区子育て分科会において、子育て中のお母様にも分科会の会合に参加頂き、ニーズの把握に努めました。

#### ウ 運営協議会の開催時期・議題について

第1回 6月28日（木）14:00～15:00

- 議題
- ・新役員紹介
  - ・平成18年度事業報告
  - ・平成19年度事業計画
  - ・新任職員紹介
  - ・質疑応答

第2回 11月29日（木）14:00～15:00

- 議題
- ・平成19年度事業経過報告
  - ・新任職員紹介
  - ・質疑応答

#### エ ボランティア育成、及び協働について

貸室利用団体がプラザのデイサービスのレクリエーションにおいてボランティア活動して頂きました。自主事業において広報紙等にボランティア募集記事を載せ、積極的に受け入れ、育成し活動して頂きました。

また子育て支援事業において、企画から活動中のボランティアの方たちに参加頂き、運営しました。

#### オ 貸し館の稼働率目標、及び利用促進策について

地域住民の貸室利用を促進する為、広報紙へ案内を記載しましたが、稼働率は昨年同様程度に止まりました。貸室利用者からは、地の利が悪いとの声もありましたが、プラザとして多様な世代の地域住民・団体に利用して頂けるよう広報紙・講座等で周知を行いました。

#### カ 地域活動・交流部門における自主事業の実施について

認知症予防として、脳いきいきトレーニング講座を継続、内容の充実を図り参加者増に努めました。高齢者支援のミニサロンにおいて、時間内に出来る様々なものづくりを実施し、交流の場のみだけでなく趣味作りの推進を行いました。子育て支援では、こどもだけではなく子育て中のお母様の健康面にも抵触し、ヨガ・エアロビクス等を取り入れた親子で楽しめるエクササイズ教室を開催しました。

#### キ 地域福祉（保健）計画地区別計画の推進への取り組みについて

西区福祉保健計画に基づいた自主事業(基本目標 1 においては各事業共通、転倒予防教室「もくよう会」「虹の会」は基本目標 2、「脳いきいきトレーニング講座」、サロン「水仙会」ミニサロン「心の散歩道」は 2.3.6、「親子であそぼ!」は 2.3.5.6、「支えあいネットワーク第 6 区地区子育て分科会」は 2.3.4.5.6 に抵触させて)を継続・開催しました。また、ケアプラザ連絡会や各職種・部門の会議等に参加し、区との共通理解を得ました。

### ● 地域包括支援センター事業

#### ア 地域包括支援センターの役割の周知や活用に関する工夫について

地域の会議・食事会・事業実施時に、スタッフ全員で参加し顔と名前を覚えて頂きました。また、地域包括支援センターの役割を伝え、チラシを配り何か困った事があればすぐに相談をして頂きたい、とアナウンスしました。

積極的に出張出前講座を行い、地域包括支援センターの役割説明や案内に努めました。

#### イ 介護予防の推進や地域づくりのための具体的方策について

地域の健康教室に参加し、独居や高齢者世帯の高齢者に対し運動プログラムを実施し、要介護状態にならないよう予防を推進しました。

出張出前講座にて介護予防について説明し、また介護予防体操を行い、地域住民に介護予防の大切さについてPRしました。

西区主催の地区別担当者会議へ出席し、地域のニーズを把握するために情報を収集し、課題を把握しできるだけ解決できるように取り組みました。

### ウ 介護予防ケアマネジメント事業

地域の民生委員と連携し、閉じこもりがちな高齢者宅へ訪問して、状態が悪くならないよう支援をしました。

利用者に対ししっかりと予防サービスについての説明をし、要介護状態とならないよう、かつ自身で出来る部分はできるだけ自分で行えるような介護予防プランを作成し、在宅生活を支援しました。

### エ 総合相談・支援事業

プラザに来られない方のためにも、各地域で出張相談（出前講座）を行い、潜在的な問題把握と、幅広い方が相談を受けられるよう努めました。

地域の会議に定期的に出席することで、民生委員との連携を強化し、地域の独居高齢者の相談などをスムーズに対応できるように努めました。

### オ 権利擁護事業（現状・被保険者への虐待防止・早期発見等）

高齢者の虐待の恐れがあるケースは、早い段階で担当ケアマネジャー・区と連携をし、情報を共有しながら問題解決へ努めました。

西区が主催する「処遇困難事例検討会」に積極的に参加をし、専門職としての知識・技術の向上に努めました。

### カ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

「顔のみえる関係作り」の土台を構築する手段として、積極的な民生委員との連携、地域の会議への出席に努めました。

ケアマネジャーの相談や関係機関からの情報提供があった場合、包括カンファレンスでの検討や担当者会議の開催（包括からのバックアップの参加）に努めました。

### キ 介護予防支援業務の取り組みについて（実施体制等）

《職員体制》 地域包括支援センター

看護師	1名
主任ケアマネジャー	1名
社会福祉士	1名
介護支援専門員	1名

#### 《目標に対する取組状況》

高齢者の生活機能維持・向上のためにケアプランを作成し、適切にケアマネジメントを行い、定期的にモニタリングをし、都度プランの見直しをして、ご利用者が在宅で生活できるよう支援しました。

#### 《実費負担（徴収した項目ごとに記載）》

●介護予防支援のマネジメント業務に関して、実費負担なし。

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

定期的に地域で介護予防・介護保険についての出張出前講座を実施しました。

#### 《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
106	108	108	109	110	107
10月	11月	12月	1月	2月	3月
111	116	115	117	122	122

● 通所介護事業

《提供したサービス内容》

- 入浴
- 食事
- 相談援助
- レクリエーション・体操

《実費負担》

- 1割負担分
  - (経過的要介護) 698円
  - (要介護1) 771円
  - (要介護2) 890円
  - (要介護3) 1,008円
  - (要介護4) 1,127円
  - (要介護5) 1,246円
- 食費負担 650円

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 10:00 ~16:05

《職員体制》

管理者	1名	機能訓練指導員	2名
生活相談員	3名	運転兼業務員	2名
看護職員	2名		
介護職員	12名		

《目標に対する取組状況》

個別ケア レクリエーションの選択制をしています。トランプ、麻雀などをしました。  
 ケアプランに基づいて廊下の手すりを使って、歩行訓練をするなど、個々のサービスを実施しました。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

おもてなしの心をモットーにしたスタッフが、体操を取り入れたレクリエーションをしました。四季折々の花や、みどりに囲まれ落ち着いている環境です。

《利用者実績(延べ人数)》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
566	595	564	545	510	523
10月	11月	12月	1月	2月	3月
546	548	502	510	509	513

● 介護予防通所介護事業

《提供したサービス内容》

- 入浴
- レクリエーション

《実費負担》

- 1割負担分
  - (要支援1) 2,360円
  - (要支援2) 4,615円
- 食費負担 650円

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 10:00 ~ 16:05

《職員体制》

管理者	1名	機能訓練指導員	2名
生活相談員	3名	運転兼業務員	2名
看護職員	2名		
介護職員	12名		

《目標に対する取組状況》

個別ケア レクリエーションの選択制をしました。トランプ、麻雀などをしました。  
ケアプランに基づいて自立支援に向けた四肢の体操など、個々のサービスを行いました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

おもてなしの心をモットーにしているスタッフが、体操を取り入れたレクリエーションをしている。四季折々の花や、みどりに囲まれた落ち着いた環境です。

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
9	11	12	12	16	15
10月	11月	12月	1月	2月	3月
21	21	20	20	22	23

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 1名  
 介護支援専門員（専従常勤） 2名

《目標に対する取組状況》

「人権尊重とプライバシーの保護」「質の高い安定した福祉サービスの提供」を理念に、ご利用者ご家族の立場に立った信頼とフットワークで適切な援助をめざしました。住み慣れた地域で安心安全に過ごせるようよく相談させていただき、ケアプランを作成いたしました。公正・中立な立場で社会資源のネットワークを活用し、ご利用者の自立支援をめざしました。

《実費負担（徴収した場合は項目ごとに記載）》

介護支援専門員が、通常のサービス実施地域を越える地域に訪問・出張する必要がある場合は、その旅費（実費）の負担をお願いすることがあります。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

研修・講習会等積極的に実施・参加し、職員の資質向上をはかりました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
24	27	30	35	27	27
10月	11月	12月	1月	2月	3月
30	31	30	34	40	41

<以上>



# 平成19年度自主事業報告書

## 浅間台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
サロン「水仙会」	高齢者の自立支援と独居高齢者の安否確認。食事と交流の場・福祉保健に関する情報の提供。	毎月第3水曜日 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ミニサロン「心の散歩道」	高齢者の自立支援と独居高齢者の安否確認及び趣味作り。交流の場と福祉保健に関する情報提供。	毎月第4水曜日（1・8月を除く）年10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て支援「親子であそぼ！」	こどもの健全な育成の為の支援と親同士のネットワーク作りの場の提供。親子遊びや集団遊び・絵本の読み聞かせ。	0～2歳 毎月第1水曜日（1・8月を除く）年10回 2歳～未入园児 毎月第2水曜日（1・8月を除く）年10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て支援「親子であそぼ！パート2」	こどもの健全な育成の為の支援と親同士のネットワーク作りの場の提供。共催校の学生に現場体験を通じ、より深く福祉を理解してもらおう。親子遊びや集団遊び・絵本の読み聞かせ。	年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
びすけっと	ボランティアの資質向上を図り、「親子であそぼ！」の活動の支援。子育て支援「親子であそぼ！」の計画・準備・実施。	概ね第1・2水曜日 年19回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子エクササイズ教室	親子のコミュニケーション方法も含め、日常生活でも出来るストレッチでリフレッシュを図る。親子で出来るエアロビクス・ヨガ・ストレッチ。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
脳いきいきトレーニング講座	認知症予防。音読・計算・漢字の書き取り・簡単な体操。	概ね第2・4火曜日 年33回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
給食・配食サービス	地域の独居高齢者等の社会的交流と食生活の改善及び安否確認。調理し会食会を実施。ケアプラザは調理場提供・配達業務補助を行う。	第1～4金曜日 年53回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
もくよう会	転倒予防の為の体力作りを行うと同時に、閉じこもり防止。転倒骨折予防の発展教室として主に基礎教室修了者を対象とした体操。	毎月第2・4木曜日 年24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
虹の会	転倒予防の為の体力作りを行うと同時に、閉じこもり防止。転倒骨折予防の発展教室として主に基礎教室修了者を対象とした体操。	毎月第2・4木曜日 年24回

## 平成19年度 自主事業収支決算書

事業名	①募集対象	自 主 事 業 決 算 額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
サロン「水仙会」	高齢者	279,190	156,990	122,200		279,190	
	25人						
	400円						
ミニサロン「心の散歩道」	高齢者	41,413	33,513	7,900		41,413	
	20人						
	100円						
親子であそぼ！	未入園児・保護者	39,375	39,375		10,000	29,375	
	25組						
	0円						
脳いきいきトレーニング講座	地域住民	11,722	11,722			11,722	
	25人						
	0円						
支えあいネットワーク第6地区子育て分科会	未入園児・保護者	2,610	10	2,600			2,610
	—						
	50円						

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成19年度 地域ケアプラザ決算報告書

施設名：浅間台地域ケアプラザ

(自)平成19年4月1日

(至)平成20年3月31日

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター		居宅介護支援	通所介護	予防通所介護
			包括的支援	介護予防支援			
収入	委託料収入	16,688	22,116	0	0	0	0
	介護保険収入	0	0	2,829	4,809	64,852	6,726
	その他	0	0	0	501	10,378	0
	事業活動(雑収入等)	0	0	0	404	10,196	0
	特別収入(経理区分 間繰入金収入)	0	0	0	97	182	0
	<b>収入合計(A)</b>	<b>16,688</b>	<b>22,116</b>	<b>2,829</b>	<b>5,310</b>	<b>75,230</b>	<b>6,726</b>
支出	人件費	11,160	16,109	0	5,475	44,256	0
	事務費	807	888	0	329	3,432	0
	事業費	1,029	111	0	20	5,483	0
	管理費	3,129	617	0	0	9,132	0
	その他	563	4,391	0	1,279	14,899	0
	消費税等	558	0	0	710	10,842	0
	特別支出(経理区分 間繰入金支出等)	0	0	0	569	4,057	0
	戻入額	5	4,391				
<b>支出合計(B)</b>	<b>16,688</b>	<b>22,116</b>	<b>0</b>	<b>7,103</b>	<b>77,202</b>	<b>0</b>	
<b>収支 (A) - (B)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>2829</b>	<b>-1793</b>	<b>-1972</b>	<b>6726</b>	

(単位:千円)